

1. 事業概要

事業名	農地整備事業(ほ場整備)
事業箇所	出島地区(黒部市出島地内)
事業量	受益面積 49.4ha
事業内容	区画整理49.4ha、客土21.0ha
総事業費	12億円
予定工期	平成31年度～平成39年度

2. 事業の必要性

- ・昭和9年～14年にかけて耕地整理事業村椿地区で整備を行ったが、10アール区画の狭小田で、農道も狭く、機械作業の効率が悪いため、区画整理と併せて、道路及び用排水施設等を整備し、効率的な営農の基盤を整備することにより、新たな担い手への農地集積・集約化を図る。
- ・大区画化による「黒部米」の生産コスト削減や、ネギ、丸いも等の高収益作物の導入による多角生産に取り組み、担い手の経営の安定化を図る。
- ・客土等による汎用化や作付けの団地化とともに、排水対策や土づくりを徹底し、大豆の単収・品質向上を図り銘柄産地の確立を目指す。

3. 事業の適切性(事業規模、区間など)

- ・黒部市出島集落が事業実施を契機として、農地集積に向けた検討や整備内容のとりまとめなど、話し合いによる合意形成を地区一体となって進めてきている。
- ・農地の大区画化等の整備と経営体の育成・支援を一体的に実施し、農地集積の加速化や農業経営の安定化に資する。
- ・本地区の区画については、1ha(100m×100m)区画とする。

4. 事業の投資効果

- ・費用便益比(B/C) 1.33
※作物生産、営農経費節減、景観・環境保全、国産農産物安定供給等による便益
- ・農業生産法人設立による農業経営の安定化
- ・耕作放棄の発生防止

5. 推進体制

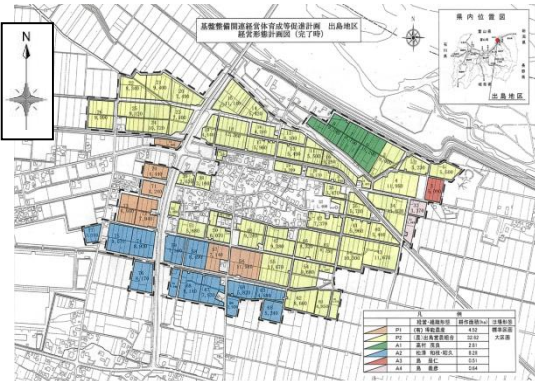
- ・黒部市、黒部市土地改良区から要望あり。
- ・出島地区基盤整備事業準備委員会(H28.10設立)、黒部川左岸土地改良区、黒部市、JAくろべ、県農林振興センターが連携し、事業推進と営農支援を図る。



農地集積状況図(現況)



農地集積状況図(計画)



	現況	計画
経営体育成	法人1、認定農業者2	法人2、認定農業者4
農地集積率	28.1%	100%
標準区画	10a(50m×20m)	1ha(100m×100m)